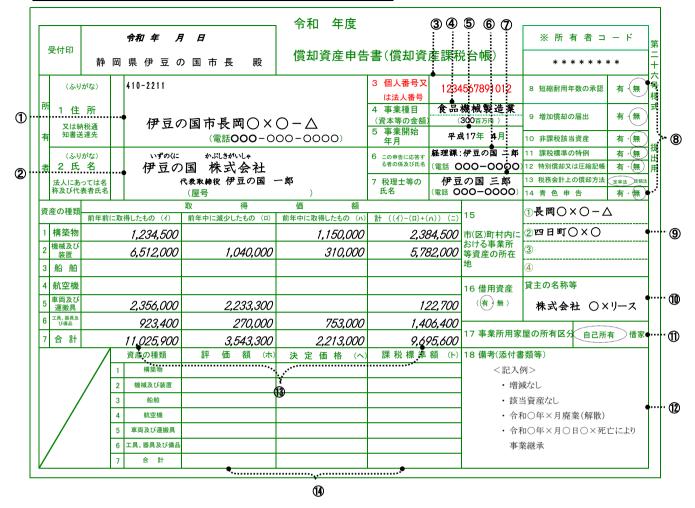
★ 申請書の控えがございませんので、控えが必要な場合は、コピー等を予めとるようにしてください。

償却資産申告書(償却資産課税台帳)記入例



- ① 住所及び電話番号を正確に記入(印字されている場合は誤りがあれば訂正)してください。
- ② 個人は氏名を、法人は名称及び代表者名を記入(印字されている場合は誤りがあれば訂正)してください。 なお、申告書に記載されている方が、既にお亡くなりになられている場合も、前年度申告と同様のままで送付させていた だいております。事業継承されている場合は、事業主を変更し、申告していただきますようお願いいたします。
- ③ マイナンバー運用開始のため、個人は12桁の個人番号を、法人は13桁の法人番号を<u>必ず記入</u>してください。「*******」が記入済の場合は、以前の申告時に本人確認できている方です。記入は不要です。
- ④ 事業の種目は、大まかな分類ではなく、食品小売業や電気機械製造業等、できるだけ具体的に記入してください。 2つ以上の事業を営んでいる場合には、主な事業種目を記入してください。
- ⑤ 法人の場合は、設立年月(本社が伊豆の国市外の場合は、伊豆の国市に事業所を開設した年月)を記入してください。
- **⑥** この申告について応対される方の係名、氏名及び電話番号を記入してください。
- ② 経理を税理士等に委託している場合は税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。
- ⑧ 8から14の事項で該当するものを○で囲んでください。
- ⑨ 伊豆の国市内での資産の所在地が2ヶ所以上ある場合には、主な所在地を①に、その他を②以下に記入してください。 ただし、資産の所在地が1ヶ所だけで、住所地と同一の場合は、本欄の記入の必要はありません。
- ⑩ 伊豆の国市内で使用している償却資産のうち、借用資産の有無を○で囲んでください。 「有」の場合は貸主の名称等を記入してください。
- ⑩I 該当するものを○で囲んでください。2棟以上の家屋を使用している場合は、償却資産の主に所在する家屋について記載してください。
- ② 資産の増加・減少のない場合は、「増減なし」と記入してください。 伊豆の国市内に該当する資産がない場合は、「該当資産なし」と記入してください。 解散、廃業した場合は、その年月を記入してください。 その他特記事項があれば記入してください。
- (イ)前年前に取得した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。(ロ)前年中に減少した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。(ハ)前年中に増加した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。※申告漏れとなっていた資産は、前年以前に減少あるいは取得したものであっても(ロ)又は(ハ)に加えてください。
- 電算申告の方のみ記入してください。